



日本共産党都議団
18議席の
力で

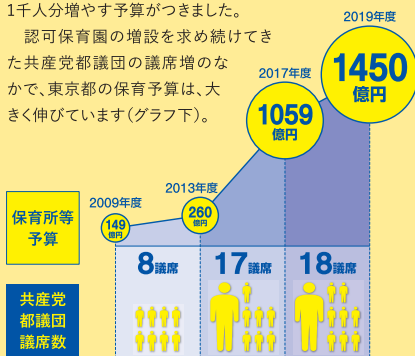
暮らしに 役立つ都政に 変える。

日本共産党都議団は、18議席の力を最大限に発揮して都議会で奮闘。都民要望の実現へ、多くの貴重な成果を得ることができました。とくに、「暮らしに役立つ都政」への転換を迫り、東京都の巨大な予算を、大型開発優先でなく福祉・教育優先に使うべきだと取り組んできました。



保育園 どんと増える

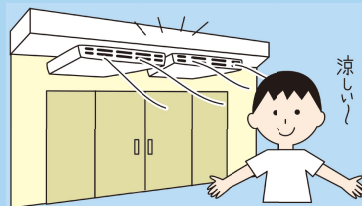
「待機児ゼロ」へ、今年度は都内で2万1千人分増やす予算がつけました。認可保育園の増設を求め続けてきた共産党都議団の議席増のなかで、東京都の保育予算は、大きく伸びています(グラフ下)。



学校の体育館に エアコンがつく

補助は増 リースにも対応

東京都は、国を大幅に上回る手厚い補助を出して、公立小中学校への設置を促進します。都立高校には3年間で全校につけることを決めました。共産党都議団は、この問題で、いち早く知事に申し入れをし、条例提案もして論戦をリードしてきました。



聞こえの バリアフリー

補助
補聴器



共産党の質問に
都が答弁

「区市町村の 取り組みを支援」

70歳以上の高齢者の半数は、加齢性の難聴と推定されています。共産党都議団は、この問題を重視し、今都議会でも補聴器購入費助成など、利用促進対策の拡充を提案しました。都も「聞こえの支援など、高齢者を支える区市町村の取り組みを支援してまいります」と答えました。

補聴器使用で、生活の質が
改善した

あなたの生活の質(QOL)の改善に補聴器はどの程度役に立っていますか?
(一般社団法人 日本補聴器工業会 JapanTrak 2018 調査報告)

